

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	臨床腫瘍学コース（正規課程）（テーマ③）						
対象職種・分野	医師、薬剤師、看護師など						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・個別化医療を推進するため、分子標的薬やコンパニオン診断薬等の創薬研究や新たな治療法の開発を担う人材 ・免疫チェックポイント阻害薬等による免疫療法の実施と支持療法を適切に行える人材 ・腫瘍循環器学や腫瘍腎臓病学等のがん関連学際領域の知見をもち、それを腫瘍学における研究課題として解決していける人材 ・これらをもとにして臨床試験の立案や、トランスレーショナルリサーチ、臨床研究を実施できる人材 						
修了要件・履修方法	単位取得（30単位） 特論4単位、特別研究演習8単位、研究指導4単位、共通必修科目2単位、選択科目12単位かつ、博士論文審査と最終試験の合格。						
履修科目等	<p>（必修科目） 腫瘍専門医特論（4単位）*、腫瘍専門医特別研究演習*（8単位）、研究指導（4単位）、共通基盤教育科目から2単位（総合人間学特論1単位を含む）</p> <p>（選択科目） 医学特論演習（10単位＝5科目）、大学院セミナー**（2単位＝20回聴講、ポスター発表） *臨床腫瘍学特論I～II（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、腫瘍関連学際領域特論（2単位）次世代腫瘍予防学特論（2単位）を含む。**がんプロセミナー含む</p>						
がんに関する専門資格との連携	腫瘍内科専門医（日本臨床腫瘍学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県立医科大学附属病院において受託している数多くの新薬治験の実施や研究者会議出席を通じて、薬剤臨床開発の現場を経験できる ・臓器横断的な視点で、分子標的薬や免疫療法薬の臨床、研究に携わることができる ・国内、国外との臨床試験グループでの研究立案を通じて国際的に活躍できる人材を育成する 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座の教授以下、教員4名 ・臨床腫瘍センター、臨床研究センター、乳腺外科、放射線治療科、緩和ケアセンター、遺伝診療部、がんゲノム医療診療部の各領域専門医が共同で指導する。 ・国内外の各領域における最先端研究者からのオンライン講義 						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県立医科大学附属病院や福島県内のがん診療連携拠点病院に勤務し、免疫療法や分子標的治療薬の適切な実践と臨床課題を解決する医療者・研究者として活躍する ・海外施設への留学を経て、国際的な競争力をもった研究者として活躍する ・腫瘍内科専門医の取得 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
<small>※前年度に「新たに」入学する人数を記載。最新期に設置したコースに限る。</small>	0	1	1	1	1	1	5
受入目標人数設定の考え方・根拠	福島県内の6つのがん拠点病院に専門医もしくは、専門的な知識をもつ医療者を配置することを目標とした上で、これまでの志望者実績も踏まえ受入れ目標人数を5人と設定。						